

15. 動作確認済市販品オーディオレシーバー 一覧

メーカー名	商 品 名
ELECOM	BLuetooth ワイヤレスオーディオレシーバー LBT-AVWAR500
ELECOM	BLuetooth ワイヤレスオーディオレシーバー LBT-AVWAR700
Kashimura	Bluetooth ミュージックレシーバー USB BL-51
プリンストン	Bluetooth Music Receiver PTM-BTR1
プリンストン	Bluetooth Audio Receiver PTM-BTR2
TOSHIBA	東芝ワイヤレスレシーバー TY-BT10
センチュリー	どれで〜も BLuetooth CBTTR-AV
dodocool	2-in-1Wireless Transmitter and Receiver DA88
TaoTronics	Wireless Stereo Transmitter TT-BA01
TROND	BT-DUO Wireless Transmitter & Receiver BT-DUO
MPOW	Bluetooth 4.0 Music Receiver MBR1
Ugreen	Wireless Bluetooth 4.1 Receiver Audio Adapter
inateck	Bluetooth transmitter and receiver all in one BR1003
JETech	JETech T2030
AUKEY	Portable Wireless Audio Receiver BR-C1
Collen	Bluetooth Transmitter and Receiver 2-in-1 Adapter

※2017 年 7 月現在の情報です。購入時期によって生産終了しているものや、国内にて販売していない商品もございます。
※オーディオレシーバーの種類によって、タブレット端末との相性等の問題によりペアリングや無線操作が出来ない場合があります。あらかじめご了承ください。



e-トレインコントローラー取扱説明書 C005

この度は、ロクハン製品をお買い求め頂きありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになって、正しくお使い頂きますようお願いいたします。
本商品は鉄道模型専用です。ロクハン製 Z ゲージの他、N ゲージ、HO ゲージにも使用出来ますが、必ず入力電圧 DC12V ~ 16V、定格電流 1.5A でご使用ください。又、読み終わった後もこの取扱説明書を大切に保管しておいてください。

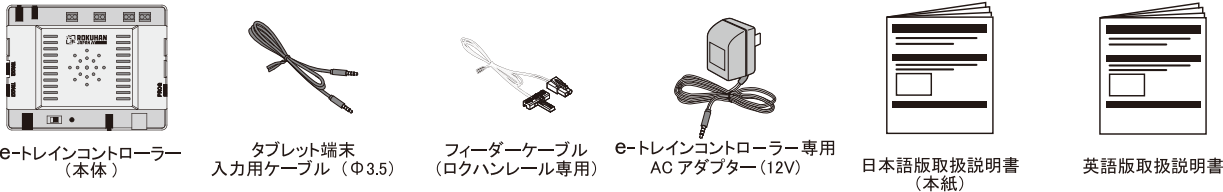
1. 警告【ご使用前に必ずお読みください】

- コントローラーや車両に発煙・発熱・異臭等の異常が生じたらすぐに電源スイッチを OFF にして電源を抜いてください。異常のまま使用しますと、故障や火災、感電等の原因になります。
- 本製品を鉄道模型以外の用途に使用しないでください。
- 故障の原因となりますので、本体や同梱ケーブル、AC アダプターの分解や改造等をしないでください。
- 接続端子に異物を入れたり、電源コードを傷つけないでください。故障や発熱の原因になります。
- レールの上に金属製のものを置かないでください。ショートにより故障や発熱の原因の危険があります。
- 指定されたもの以外、各端子に接続しないでください。
- 本商品は電子部品の一部に磁石を使用しております。ペースメーカーをご使用の方はご注意ください。

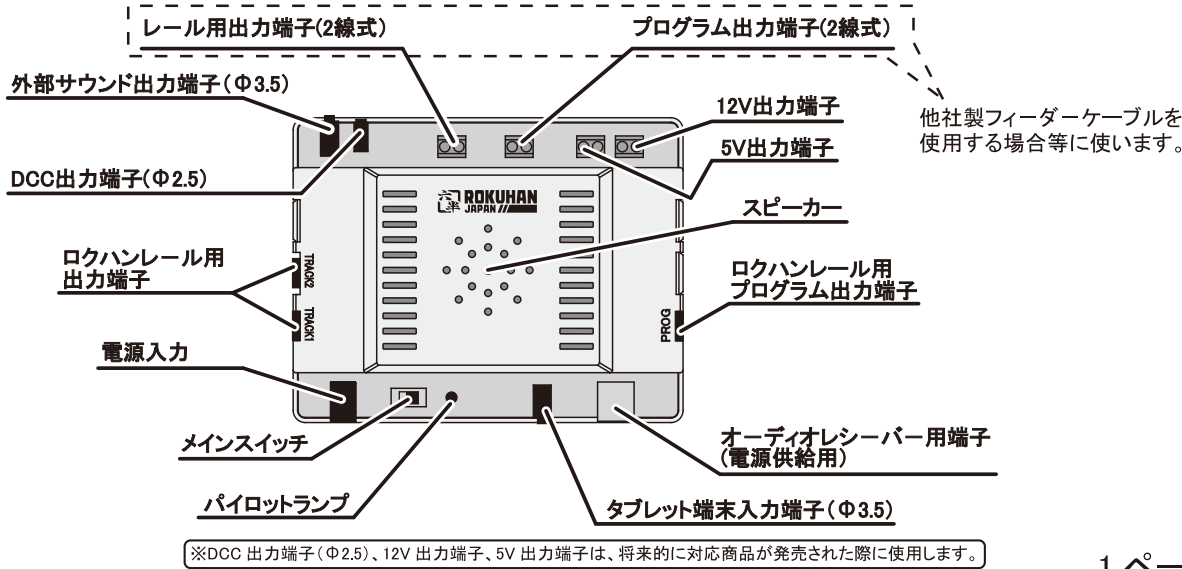
2. 注意【ご使用前に必ずお読みください】

- 湿気やほこり、高熱や水にさらされる恐れのある場所での使用及び保管はしないでください。
- じゅうたんや布団の上や風通しの悪いところでのご使用はしないでください。
- 商品特性上、この商品は 15 歳未満の方には適しません。15 歳未満の方は保護者のもとでお遊びください。
- 他社の Z、N、HO ゲージにも使用可能ですが、DCC 化が難しいもの、対応していないものもございます。
- 必ず入力電圧 DC12V ~ 16V、定格電流 1.5A でご使用ください。
- AC アダプターは必ず「e-トレインコントローラー専用 AC アダプター」をご使用ください。

3. 内容物



4. e-トレインコントローラー各部の名称

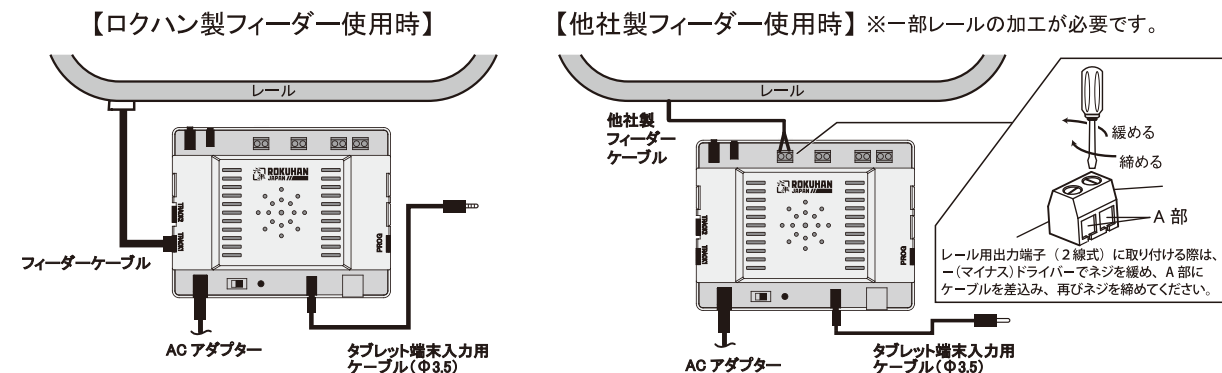


5. e-トレインコントローラーのセットアップ

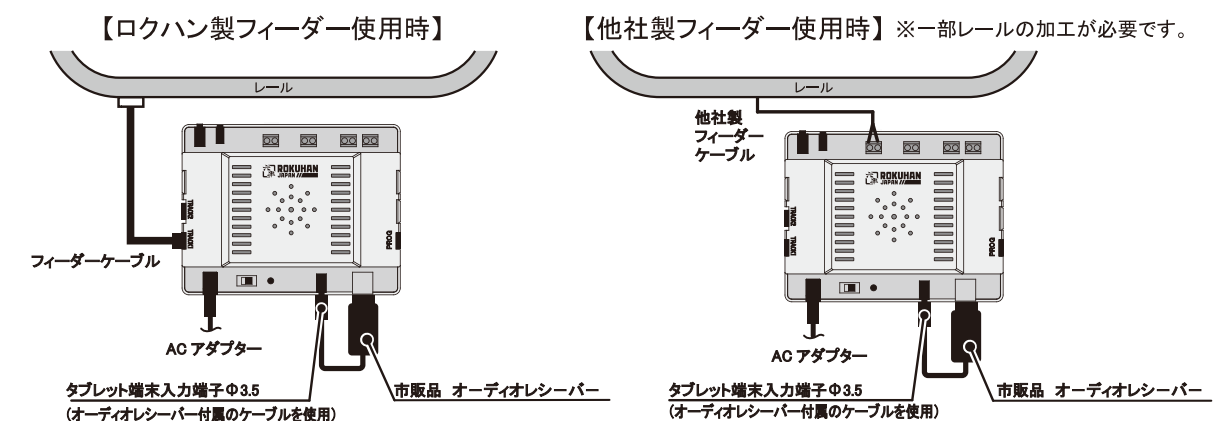
e-トレインコントローラーを使用する為の端末<iOS 端末 (iPhone,iPAD)、Android 端末 (スマホ、タブレット端末)>をご用意ください。以下、本書では e-トレインコントローラーアプリ (6. e-トレインコントローラー アプリのインストール 参照) をインストールした端末を総じて、“タブレット端末”と表記します。

e-トレインコントローラーは、付属のタブレット端末入力用ケーブルをタブレット端末に接続する事で操作が出来る他、市販のオーディオレシーバーを使用することで無線で操作する事も可能です。(下記②参照)

①e-トレインコントローラーとコースレイアウトのセットアップ (有線式)



②e-トレインコントローラーとコースレイアウトのセットアップ (オーディオレシーバーでの無線式)



【動作確認済 市販品オーディオレシーバー】

■動作確認済 市販品オーディオレシーバーに関しては、「15. 動作確認済オーディオレシーバー一覧」をご参照ください。
※オーディオレシーバーの機種によって、タブレット端末とのペアリングや無線操作が出来ない物もあります。あらかじめご了承ください。

オーディオレシーバーを使う際は、オーディオレシーバー用端子からの電源供給が可能であり、タブレット端末入力端子φ3.5に接続可能なものをご使用ください。ただし、タブレット端末入力端子φ3.5のみに接続し、電源のみ別電源を使用するタイプのオーディオレシーバーも使用可能です。いずれも必ずオーディオレシーバーの取扱説明書の使用方法に沿ってご使用ください。

6. e-トレインコントローラー アプリのインストール

①アプリのインストール

アプリは、iOS 端末は App store、Android 端末は Google Play store にてアプリ名“e-トレインコントローラー”で検索し、ダウンロードしてください。

●以下、本書では、“e-トレインコントローラーアプリ”を“アプリ”と表記します。



アクセサリ

ロクハン製ターンテーブルコントローラーの電源が入らない	①ロクハン製ターンテーブル用コントローラーに AC アダプターが接続されていないことを確認してください。(e-トレインコントローラーとターンテーブル用コントローラーが接続されている場合、ターンテーブル用コントローラーに AC アダプターを接続すると動作しません)
ポイントが動かない	①ポイントにポイントデコーダが接続されているか確認してください。 ②ポイントデコーダにアドレスが設定されているか確認してください。 ③動かしたいポイントに通電されているか確認してください。 ④ポイント自体の破損がないか、ポイント単体でご確認ください。 ⑤ポイントデコーダの取扱説明書をご確認の上、ご使用ください。

サウンド

車両の走行スピードと走行音が合わない	①サウンド画面の“走行音シンクロ調整バー”で調整します。 ②アナログ操作設定画面で“走行音と走行速度のバランス設定”を調整します。(アナログのみ) ③ミュージックライブラリのサウンドは調整(シンクロ)できません。
アプリ内のミュージックライブラリに音楽が追加できない	①お手持ちのタブレット端末に音楽ファイルが入っているか確認し、本説明書の手順に従い追加してください。
外部スピーカーの音がでない	①スピーカーが“外部サウンド出力端子”に正しく差し込まれているかご確認ください。 ②外部スピーカーに異常がないかご確認ください。

14. 故障・修理について

- 誤った使用法、取り扱い、改造、分解によって起こった事故、ケガ、故障等については、当社では一切責任を負いません。また、改造、分解した商品の修理はお受けできません。
- 製品の仕様、及び外観、アプリは改良のため予告なく変更することがございます。
- 弊社は、本製品において部品の販売はしていません。
- 製品には万全の注意を払って製造にあたっておりますが、万一お気づきの点がございましたら、下記までご連絡ください。



発売元 株式会社トイテック
ロクハン事業部

〒328-0042 栃木県栃木市沼和田町 7-27
お客様窓口：0282-20-2365
受付時間：10時～12時 13時～17時 (土日祝祭日を除く)

■詳細や最新情報はロクハンホームページをご確認下さい。■

ロクハンホームページアドレス：<http://www.rokuhan.com/>

※本取扱説明書の情報は2017年7月現在のものです。

13. トラブルシューティング

故障かな？と思った時は修理を依頼される前に下記をご覧ください、現在の症状と対応の仕方をご確認ください。

共通事項	
電源が入らない	①AC アダプターが正しくコンセントに入っているかご確認ください。 ②ショートしている箇所がないかご確認ください。
車両が走らない	①フィーダーケーブルが“レール出力端子”につながっているのを確認してください。 ②タブレット端末入力用ケーブルが正しく差し込まれているか確認してください。 ③タブレット端末の音量が最大になっているか確認してください。 ④レール配線が正しくされているか確認してください。 ⑤本商品同梱のタブレット端末入力用ケーブルを使用していますか？ ⑥アプリを一度閉じて、e-トレインコントローラー本体の電源を再度入れ直し、再度アプリを立ち上げてください。
アナログ（DC）	
車両が走らない	①車両がアナログ（デジタルデコーダを積んでいないもの）か確認してください。 ②操作画面が“アナログ画面”になっているか確認してください。
DCC	
車両が走らない	①走行させる車両のデジタルデコーダと車両設定のアドレスが一致しているか確認してください。 ②操作画面が“DCC 操作画面”になっているかご確認ください。 ③車両についているデジタルデコーダが正しく機能しているかご確認ください。
車両のライトが点灯しない	①デジタルデコーダとライトが正しく配線されているか確認してください。 ②車両についているデジタルデコーダが正しく機能しているかご確認ください。
読み込みができない	①フィーダーケーブルが“プログラム端子”とレールに接続されているのを確認してください。 ②車両とレールの接点不良がないか確認してください。制御信号が正しく伝わらない恐れがある為、レールや車両接点部のこまめなクリーニングをしてください。 ③車両についているデジタルデコーダが正しく機能しているかご確認ください。 ④オーディオレシーバーを使用した無線操作で実行してないかご確認ください。（読み書きは有線式のみ対応しています。） ⑤デジタルデコーダのメーカー、種類によって読み込みができない場合があります。あらかじめご了承ください。
書き込みができない	①フィーダーケーブルが“プログラム端子”に接続されているのを確認してください。 ②車両とレールの接点不良がないか確認してください。制御信号が正しく伝わらない恐れがある為、レールや車両接点部のこまめなクリーニングをしてください。 ③車両についているデジタルデコーダが正しく機能しているかご確認ください。 ④オーディオレシーバーを使用した無線操作で実行してないか御確認ください。（読み書きは有線式のみ対応しています。）
車両ウインドウに写真が正常に表示されない	①タブレット端末に入っている写真データをタブレット端末側の機能でサイズ調整し、ご使用ください。

②アプリに関する注意事項

- 対応するタブレット端末に関する情報は更新される場合がございます。http://www.rokuhan.com をご確認ください。
- アプリは無料でダウンロードできます。あらかじめダウンロードして動作するか確認してください。アプリが対応していない機種やデコーダに読み書き出来ないものがございます。
- アプリをダウンロードする際の通信料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- 本商品使用時に万が一データーが消失しても弊社では責任を負いかねますので必ずデータバックアップを取ってからご使用ください。
- タブレット端末の操作方法や注意事項等については、タブレット端末付属の取扱説明書等に従ってご使用ください。
- タブレット端末は初期設定のままの場合、一定時間操作をしないと自動的にスリープ状態になり、この際にアプリが停止します。スリープモードを解除して操作を行ってください。

<アプリ対応 OS> ■iOS8.0 以上 ■Android OS 5.0 以上
<動作確認済み端末> ■iOS 8.4.1 iPhone5c ■iOS 9.3.2 iPhone6.0 ■iOS 10.2.1 iPad mini 4
■Android5.1.1 Nexus 10 ■Android6.0 Galaxy Tab S 8.4■Android7.0 XPERIA SO-03G
■Android7.1 Nexus 9

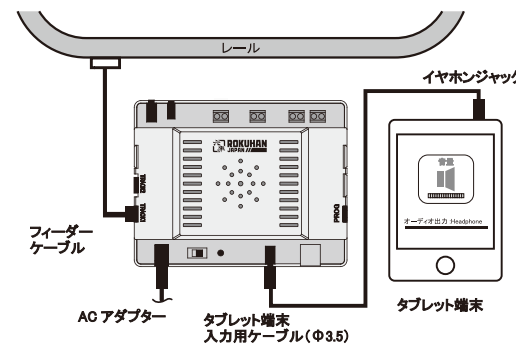
機種によってアプリが対応してない場合がございます。あらかじめご了承ください。※2017年7月現在の情報です。

7. タブレット端末のセットアップ

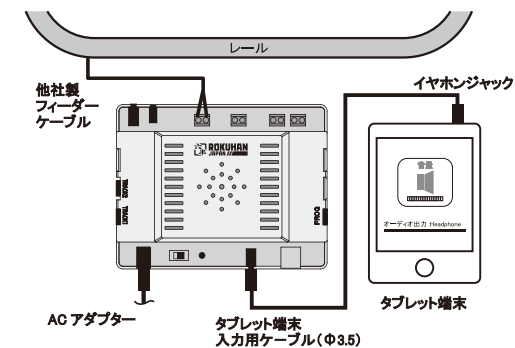
①e-トレインコントローラーとタブレット端末のセットアップ（有線式）

下図を参考にセットアップを行ってください。

【ロクハン製フィーダー使用時】



【他社製フィーダー使用時】※一部レールの加工が必要です。



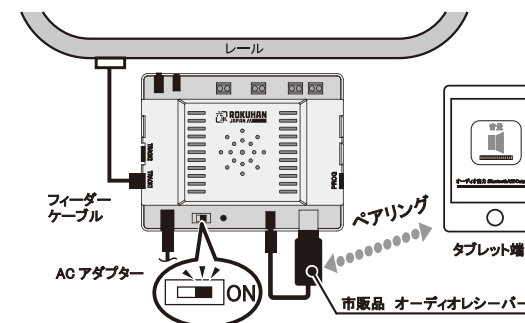
※セットアップ後に、タブレット端末の音量を必ず最大にしてください。

②e-トレインコントローラーとタブレット端末のセットアップ（オーディオレシーバーでの無線式）

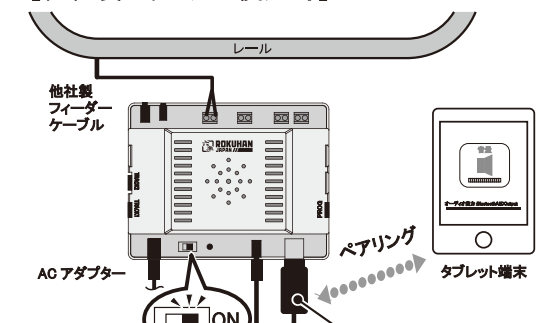
オーディオレシーバーをペアリングの待機状態にし、その状態でタブレット端末の Bluetooth を ON にします。ペアリング可能機器がタブレット端末の Bluetooth 接続画面にリストアップされたら、対象の機種を選んで接続してください。

- これらの操作方は一例です。実際にペアリングを行う際は、オーディオレシーバーの取扱説明書をご参考ください。下記の図を参考に、e-トレインコントローラーの電源を「ON」にし、各タブレット端末をセットアップしてください。

【ロクハン製フィーダー使用時】



【他社製フィーダー使用時】※一部レールの加工が必要です。



※セットアップ後に、タブレット端末の音量を必ず最大にしてください。

アナログ

8-1. アナログ車両の走行

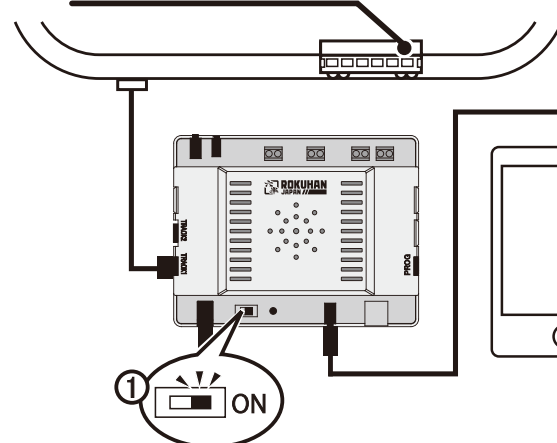
【ステップ 1】アナログ車両（デジタルデコーダを搭載してない車両）走行のセットアップ

①アナログ車両を走行させるレールの上に置き、メインスイッチをオンにします。

②アプリを立ち上げます。（この際、必ずタブレット端末の音量を最大にしてください。）

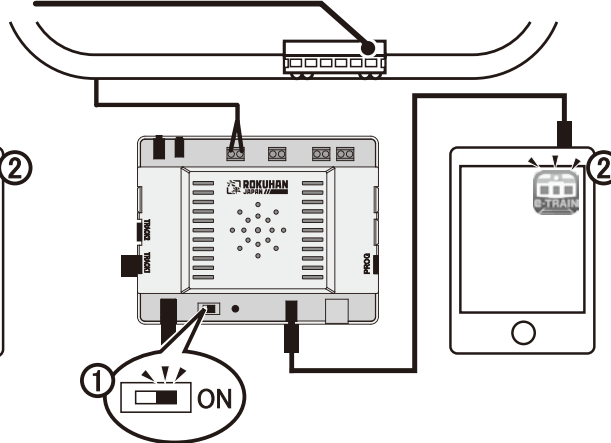
【ロクハン製フィーダー使用時】

❗車両をレールに載せる際は、ショートにご注意ください。

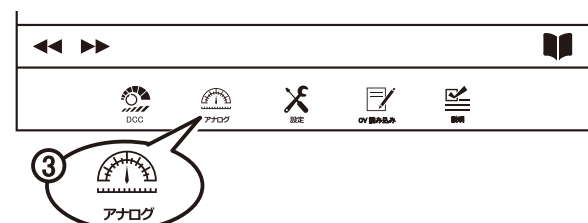


【他社製フィーダー使用時】※一部レールの加工が必要です。

❗車両をレールに載せる際は、ショートにご注意ください。

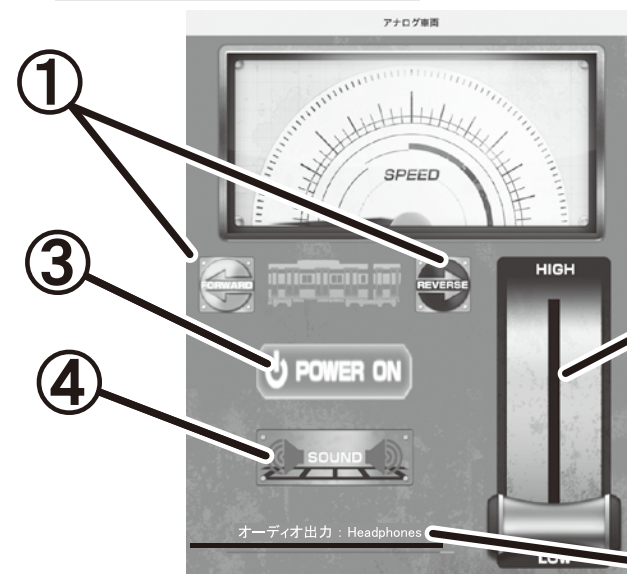


③下部メニューアイコンの“アナログ”をタッチします。これでセットアップ完了です！



【ステップ 2】アナログ車両の走行

①アナログ車両を操作します。



- FORWARD REVERSE
- ① 前進 / 後進ボタン
タッチで前、後進を切り替えます。
- ②車両のスピードコントロールバー
上下にスライドさせ、速度を調整します。
- ③緊急停止ボタン
タッチで車両が停止します。
スピードコントロールバーの操作で走行再開します。
- ④サウンドアイコン
タッチするとサウンド操作画面に進みます。
効果音アイコンをタッチする事で、各効果音が再生されます。
(12-1. サウンド操作, 12-2. ミュージックライブラリ参照)

オーディオ出力

青色の文字で“Headphones”になっている事を確認してください。



(効果音アイコンの例)

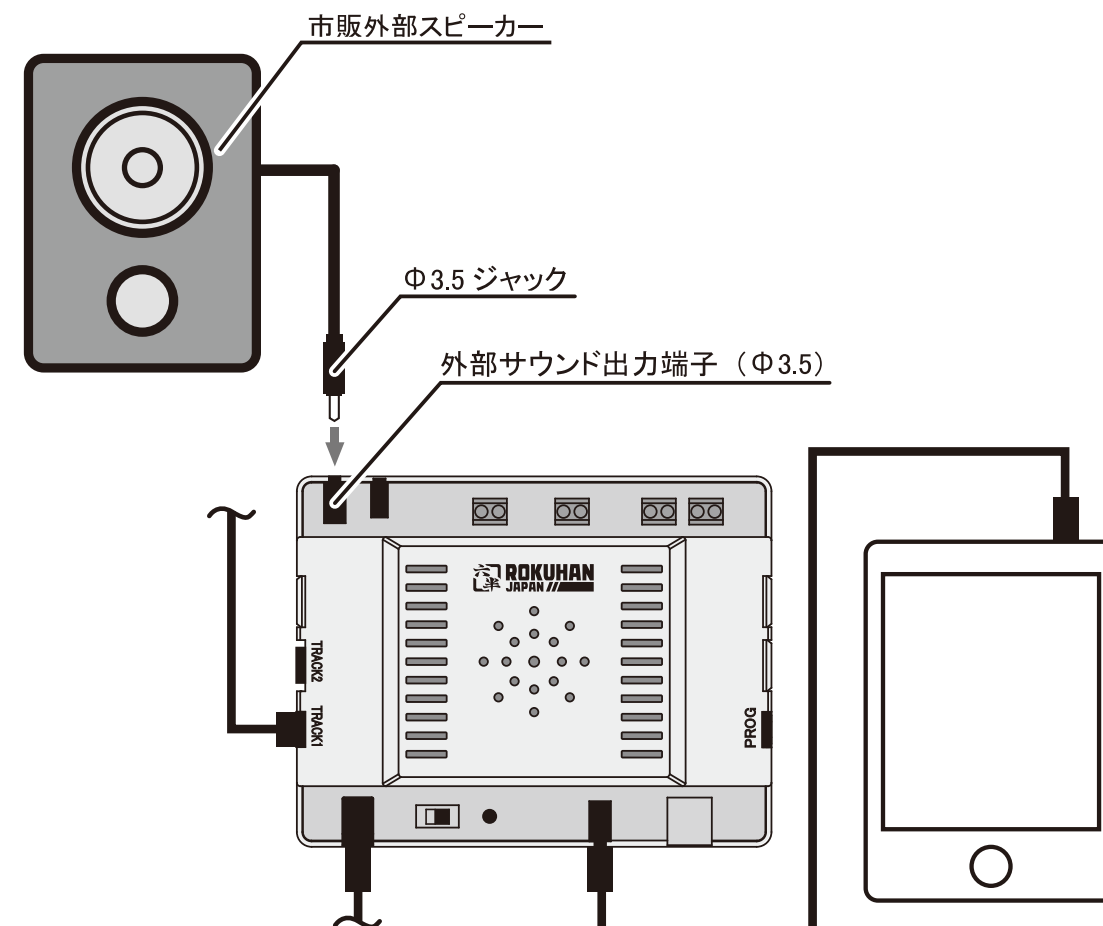
DCC

アナログ

12-3. スピーカーの外部出力

e-トレインコントローラーは市販の外部スピーカーを接続して、より迫力のある音で楽しむことができます。

【ステップ 1】スピーカー外部出力のセットアップ



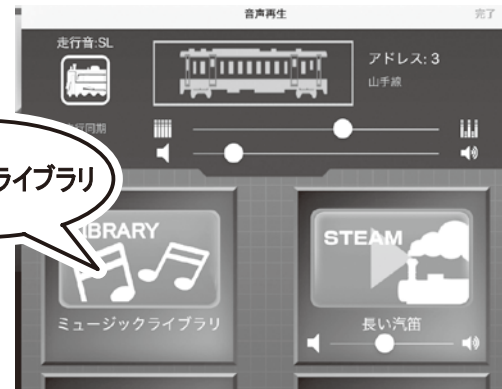
❗ 外部スピーカーを接続した場合、e-トレインコントローラー本体のスピーカーからは音は出ません。

ミュージックライブラリでは、タブレット端末に保存している音楽を e-トレインコントローラーで再生できます。

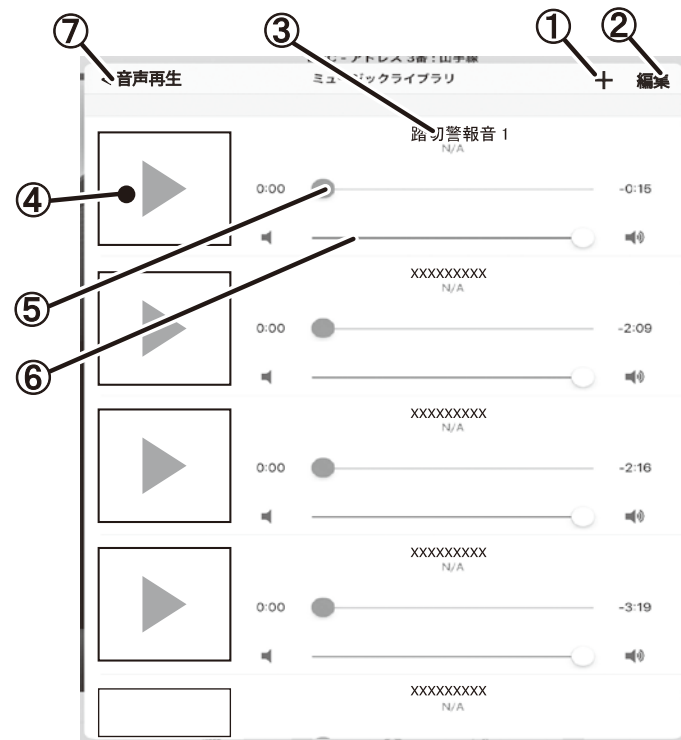
【ステップ 1】ミュージックライブラリ画面の表示

①サウンド操作画面の“ミュージックライブラリ”をタッチします。

ミュージックライブラリ



②ミュージックライブラリが表示されます。



①音楽追加アイコン

タッチすることで、タブレット端末に保存してある音楽をミュージックライブラリに追加することができます。

②編集アイコン

編集アイコンをタッチすると、再生 / 停止ボタンの右に“+”が表示され、タッチするとミュージックライブラリに登録されている音楽を削除できます。



③音楽タイトル

保存している音楽のタイトルが表示されます。

④音楽再生 / 停止ボタン

音楽の再生 / 停止をします。

⑤シークバー

再生中音楽データの現再生位置を表示します。スライダーを動かすことで、再生位置を変更できます。

⑥音量調整バー

スライダーで音量を調整します。

⑦ミュージックライブラリ終了ボタン

ミュージックライブラリを終了し、サウンド画面に戻ります。

音楽を複数登録した場合、画面を上下にスワイプ（スライド）することで、画面がスクロールします。

<音楽追加のファイル形式について>

Android 端末対応音楽ファイル形式 WAV、MP3、MIDI、AAC 等です。

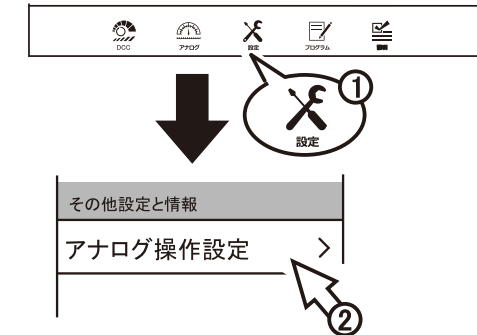
iOS 端末に関しては、iOS 端末内「ミュージック」フォルダに入れられる形式のみ (WAV、MP3、AAC 等) です。

❗お手持ちのタブレット端末に登録されている音楽で、ファイル形式の都合等でミュージックライブラリに登録出来ないものもございます。

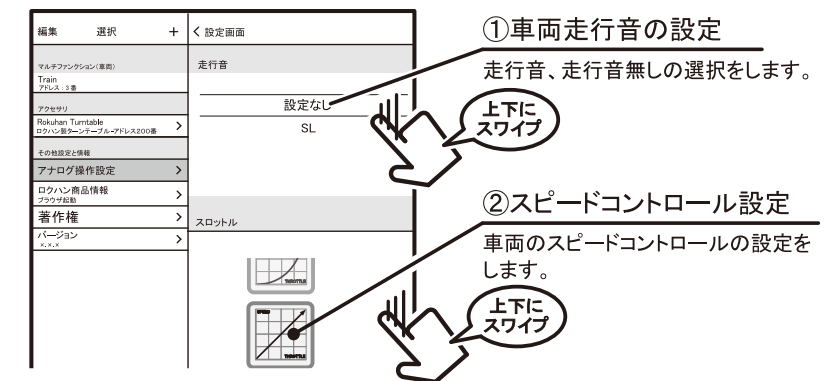
モーターやギア比の異なるアナログ車両のスピードコントロール特性や走行音の有無を設定可能です。

【ステップ 1】アナログ操作設定画面の表示

①下部メニューアイコンの“設定”をタッチし、設定画面の左部メニューにある“アナログ操作設定”を選択します。



②アナログ車両設定画面が表示されます。



①車両走行音の設定

走行音、走行音無しの選択をします。

上下にスワイプ

②スピードコントロール設定

車両のスピードコントロールの設定をします。

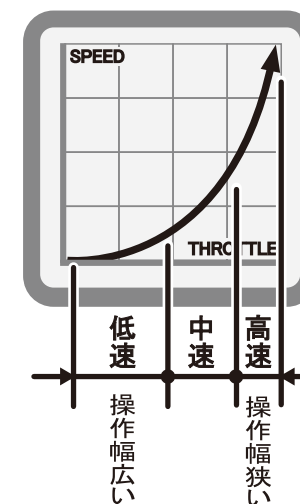
上下にスワイプ

【ステップ 2】スロットル（スピードコントロール）の設定

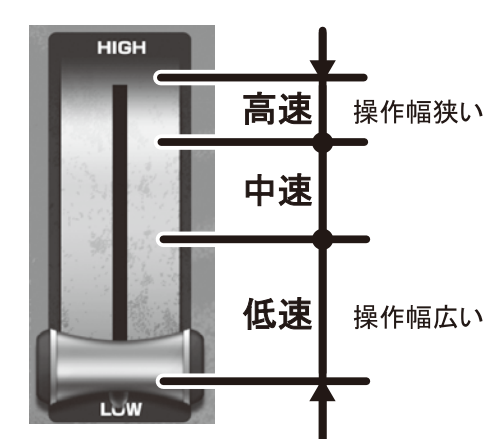
スロットルの設定は各アナログ車両のスピード特性を合わせる機能です。

【Aカーブ】 低速時の操作幅が広く、高速時の操作幅が狭くなります。
(ロクハン製Zゲージ車両は、こちらの【Aカーブ】設定がお勧めです。)

Aカーブ

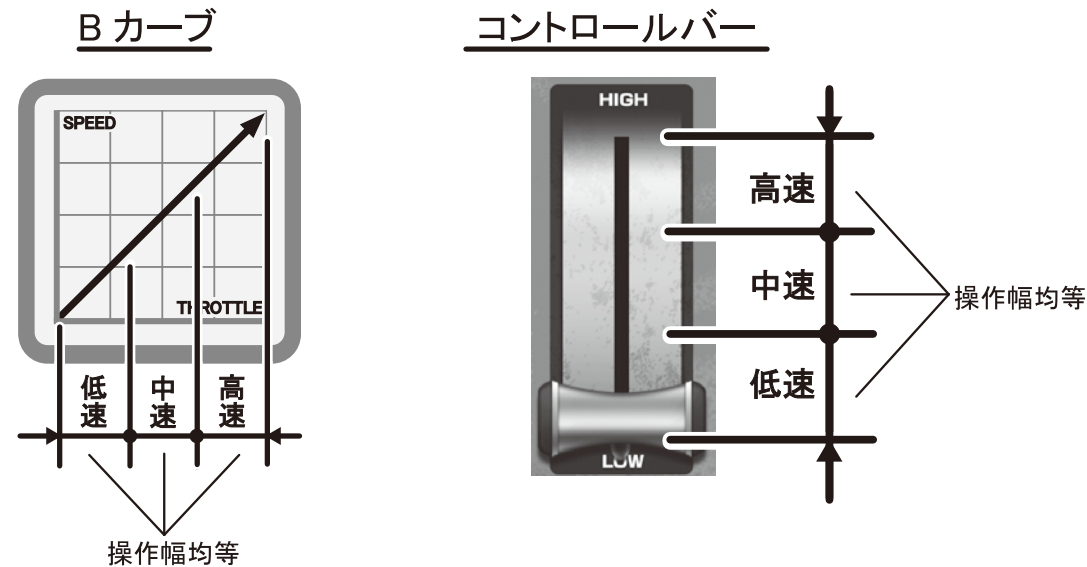


コントロールバー

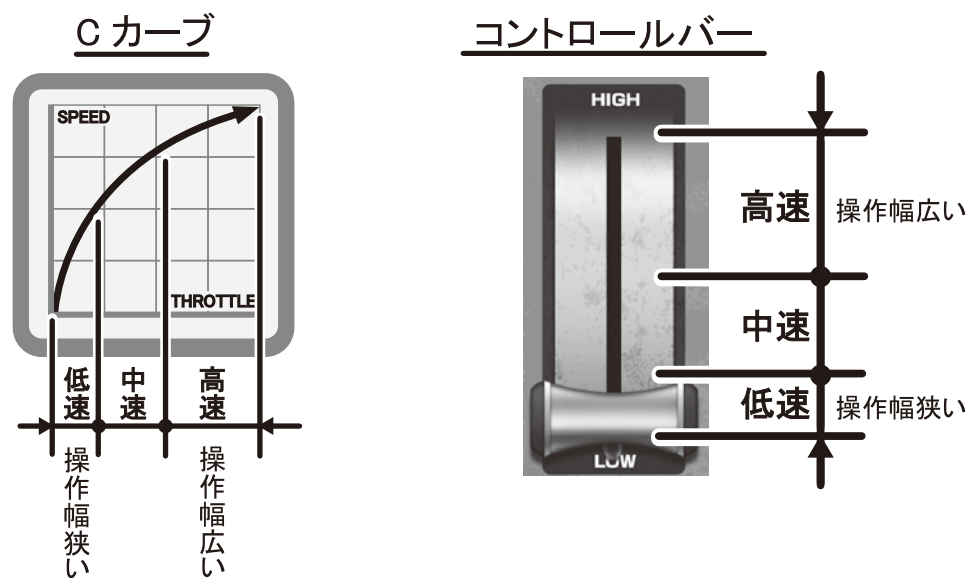


※アプリの初期設定はこちらの【Aカーブ】になっています。

【Bカーブ】 低速時、高速時共に操作幅が均等になります。



【Cカーブ】 Aカーブと逆に低速時の操作幅は狭く、高速時の操作幅が広がります。



DCC アナログ 12-1. サウンド操作

アナログ走行 / DCC 走行中にさまざまなサウンド（効果音）を出すことができます。

【ステップ 1】サウンド画面の表示

- ①アナログ / DCC モード時に表示されている
“サウンド”アイコンをタッチします。



【ステップ 2】サウンド画面の操作

- ①効果音アイコンをタッチすることで、好きな効果音を再生できます。

①車両走行音
現在選択中の車両走行音アイコンが表示されます。
※初期設定では設定されていません。

②車両ウインドウ
現在操作中の車両が表示されます。
※DCC 初期設定では標準の車両アイコンが表示されています。

③走行音シンクロ（同期）調整
スライダーを左右に動かすことで、車両の走行スピードにあわせて走行音のピッチを調整しシンクロ（同期）させることができます。

④走行音音量調整
スライダーで走行音の音量を調整します。

⑤ミュージックライブラリアイコン
タブレット端末に入っているサウンド / 音楽を再生することができます。
（12-2. ミュージックライブラリ 参照）

⑥効果音アイコン
アイコンをタッチで効果音を再生、もう一度タッチで停止します。
また、スライダーで音量の調整が可能です。

⑦停止ボタン
音が停止します。

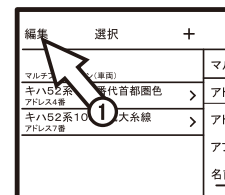
⑧サウンドモード終了ボタン
サウンドモードを終了し、走行画面に戻ります。



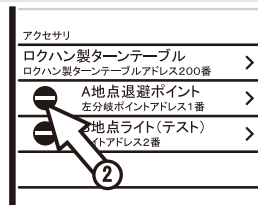
- ❗ 画面を上下にスワイプ（スライド）することで、画面をスクロールさせることが可能です。

登録してあるアクセサリの削除方法です。アクセサリ設定画面<10-1. アクセサリ設定と操作(ポイント) 参照>にて下記の操作を行ってください。

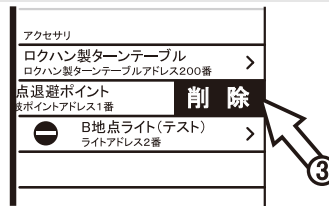
①編集をタッチします。



②削除したいアクセサリの
⊖マークをタッチすると…



③削除アイコンが現れます。
タッチすると削除できます。



遊んでいて、分からないことがあった時や手元に取扱説明書がない時に便利な“説明”機能があります。

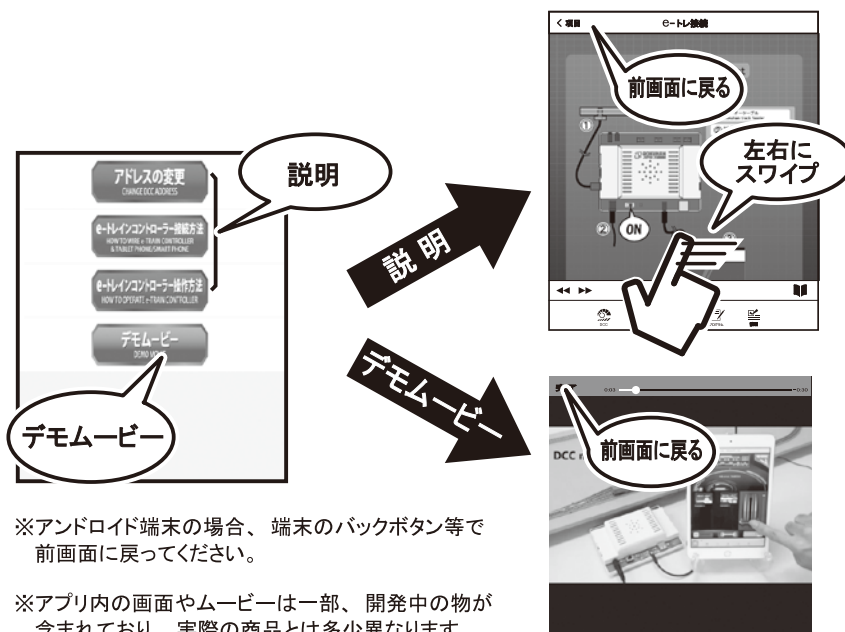
【ステップ 1】説明画面の表示

①下部メニューの“説明”を選択します。



【ステップ 2】説明画面の操作

②確認したい項目を選択し、左右にスワイプすることで次のページが確認できます。



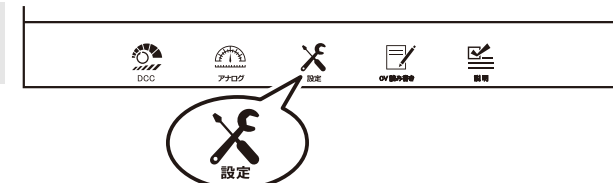
※アンドロイド端末の場合、端末のバックボタン等で前画面に戻ってください。

※アプリ内の画面やムービーは一部、開発中の物が含まれており、実際の商品とは多少異なります。あらかじめご了承ください。

DCC 車両はデコーダーに書き込みただけでは操作できません。車両を操作するためにはアプリ上での“DCC 車両の設定”が必要です。

【ステップ 1】設定画面の表示

①下部メニューアイコンの
“設定”をタッチします。



②選択、設定画面が表示
されます。

ここで設定された内容が操作画面に反映されます。

【車両設定項目】 【車両設定の詳細】

●登録済車両の表示

●登録済アクセサリの表示

●アナログ操作設定

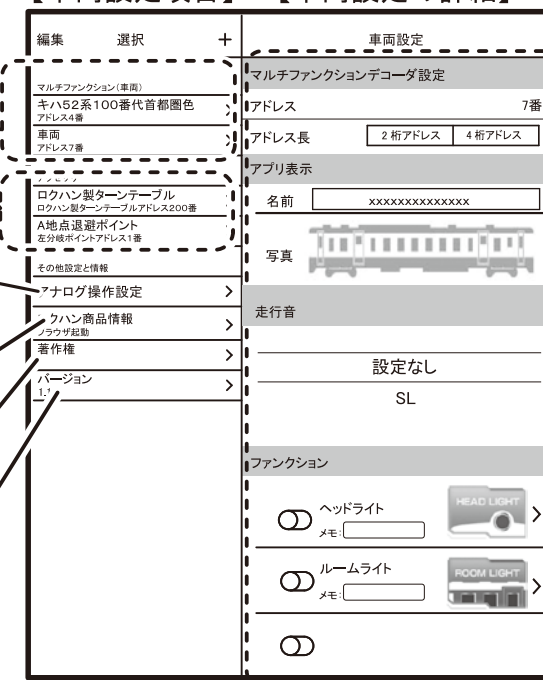
8-2. アナログ車両の設定 参照

●ロクハン商品情報

ロクハンホームページの商品情報が表示されます。
※通信の際の通信料はお客様のご負担となります。

●著作権表示

●アプリのバージョン表示



●車両設定の詳細

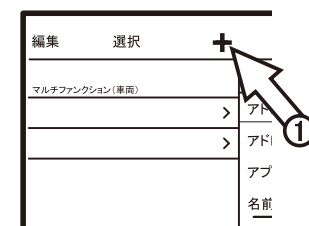
※スマートフォン及び、タブレット端末の機種によって“車両設定項目”のみ表示される場合がありますが、“車両設定項目”の各内容を選択すると“車両設定の詳細”に切り替わります。

【ステップ2】DCC 車両の登録

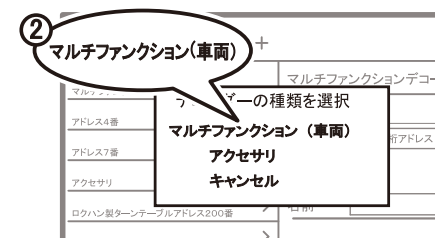
車両設定項目の“+”アイコンをタッチすると動かしたい車両、アクセサリの登録（追加）ができます。

車両の登録

①+マークをタッチします。



②デコーダ選択画面が現れます。
マルチファンクション（車両）をタッチします。



【ステップ 3】DCC 車両の設定

登録する車両の設定を行います。

①アドレス
登録する車両に搭載するデジタルデコーダに付与する番号（アドレス）が表示されます。

②アドレス長
0 ～ 127 番に設定する時は“2 桁アドレス”を、
128 番以降の時は“4 桁アドレス”をタッチします。

③車両表示
1. 名前：タッチして、登録する車両の名前を変更できます。
2. 写真：登録する車両の写真を変更できます。
車両の絵をタッチすると下記項目が表示されます。

●アルバムから選ぶ
使用しているタブレット端末に保存してある写真を使用します。
使用する写真のサイズは縦1：横3のサイズ（おおよそパノラマサイズ）に
端末側で調整してください。その他のサイズの場合アプリの機能上写真が
引き伸ばされます。（ご自分で撮影した写真を使うことができます。）
●カタログから選ぶ
あらかじめ登録されている車両イメージを選択し、表示します。

④走行音
車両の走行音の種類 / 有無を設定します。

⑤ファンクション（0～12 まであります）
DCC システムにはモーターの操作以外に前照灯やサウンドの個別操作機能が
あり、これをファンクションと呼びます。
ファンクションアイコンを車両に設定する事で、あらかじめデジタルデコーダに
設定されているファンクションを機能させることができます。
また、“メモ”部分をタッチする事で、名前を追加入力することも可能です。
※必ず車両に取り付けたデジタルデコーダの取扱説明書をご確認ください。

【ステップ 4】アドレスの設定のしかた（例）“15 番”に設定する場合

①アドレス番号をタッチします。
今回“15 番”に設定する場合は
“2 桁アドレス”を選択します。

②“アドレスの変更”ウィンドウが
表示されますので、“15”を上下
スワイプで選択し、保存をタッチ
します。

③アドレスが“15 番”に
設定できました。

【ステップ 5】車両表示：名前の設定

①名前部分をタッチします。

②キーボードが表示されますので、
好きな名前を入力します。

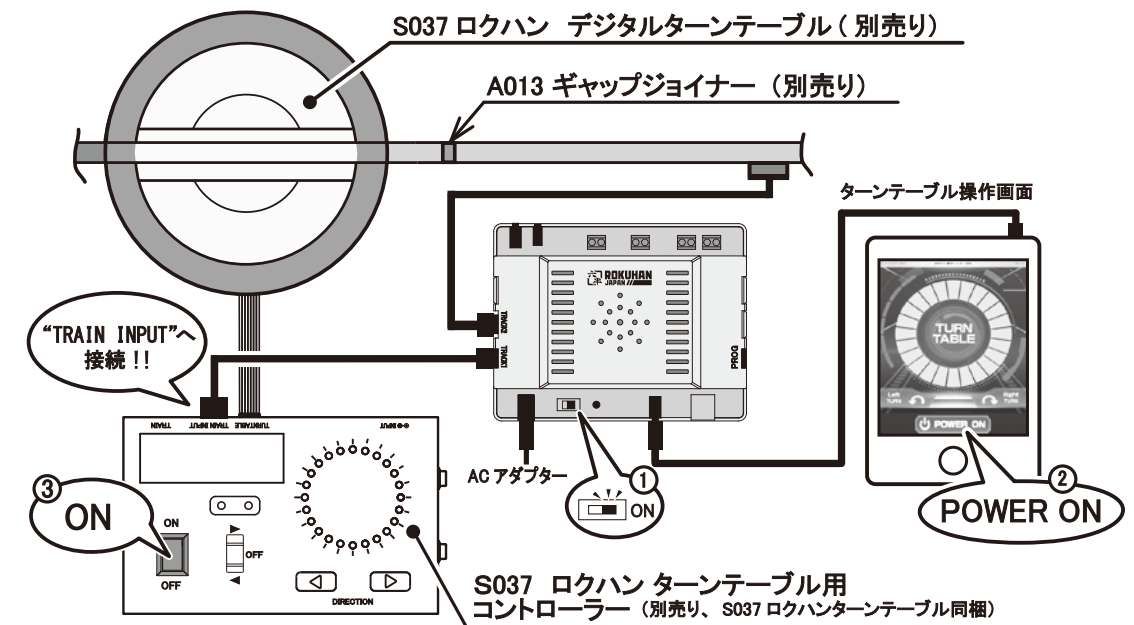
③名前の変更ができました。

DCC

10-2. アクセサリ設定と操作（ターンテーブル）

ロクハン製ターンテーブル（別売り）は、ポイント、アクセサリデコーダの取り付けや加工の必要なく遊べます。
また“ロクハン製ターンテーブル”はアドレス 200 番で固定されていますので設定は不要です。
尚、ロクハン製ターンテーブルの編集や削除はできません。

【ステップ 1】ロクハン製ターンテーブルのセットアップ



❗ロクハン製ターンテーブルを動作させる場合、AC アダプターは e-トレインコントローラー
のみに取り付けてください。（ターンテーブル用コントローラーには AC アダプター接続は不要です。）

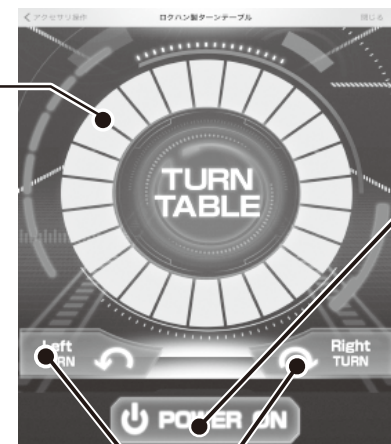
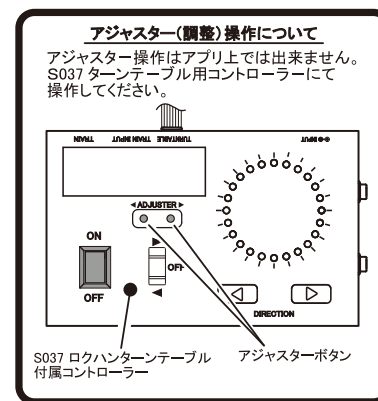
【ステップ 2】ロクハン製ターンテーブルの操作

①アクセサリ操作画面時に表示されている
“ターンテーブル”アイコンをタッチします。



②ロクハン製ターンテーブルの操作をします。

●ターンテーブルボタン
外周24か所がボタンになっています。
ボタンを押したところまで
ターンテーブルが回転します。



●緊急停止ボタン

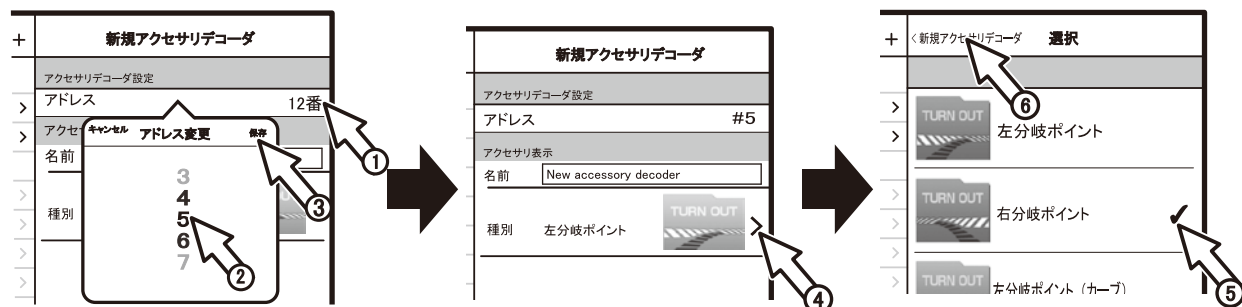
●回転ボタン（右回転 / 左回転）
押した回数分ターンテーブルが回転移動します。

【ステップ 3】アクセサリの登録

①アドレス番号をタッチし、お好みのアドレスを選択後“保存”をタッチします。

②アイコン横の“>”をタッチします。

③お好みのアイコンを選択し、左上“新規アクセサリデコーダ”をタッチして前画面に戻ります。



④右上の“保存”を押して完了です。



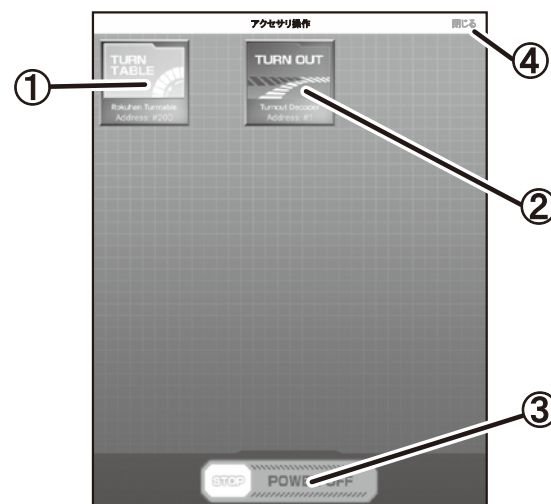
❗ 複数のアクセサリを登録する場合は上記の内容を繰り返します。

【ステップ 4】DCC アクセサリ（ポイント）の操作

①DCC 走行画面時に表示されている“アクセサリ”をタッチすると、アクセサリ操作画面に切り替わります。



②DCC アクセサリを操作します。



①ロクハン製ターンテーブルアイコン
タッチすることでターンテーブル操作画面が表示されます。

②アクセサリアイコン
“アクセサリ設定”で追加したアクセサリアイコンが表示されます。アイコンをタッチすることで、アクセサリ(ポイント)を動作させます。

③緊急停止ボタン

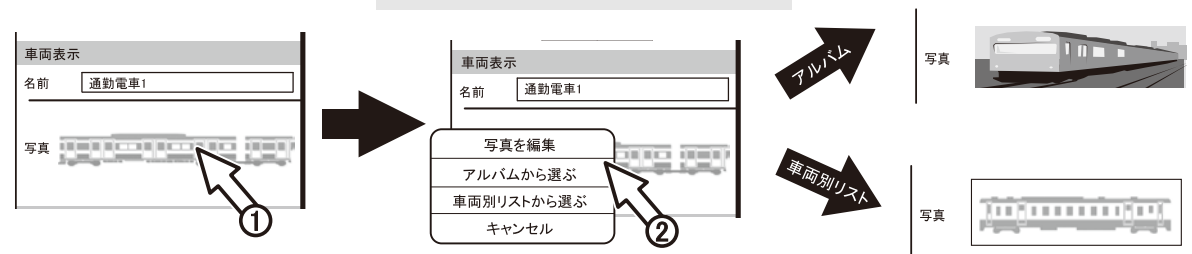
④完了ボタン
タッチすると“DCC走行”画面に戻ります。

【ステップ 6】車両表示：写真の設定

①写真部分をタッチします。

②アルバム、車両別リストからお好みの写真 / 画像を選択します。

③写真の変更ができました。

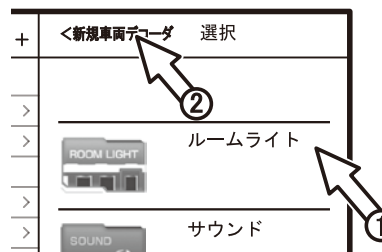
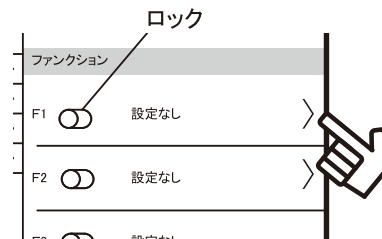


【ステップ 7】ファンクション設定 (F1のやり方)

例として、アプリ上の F1(ファンクション 1) にルームライトをファンクション設定します。

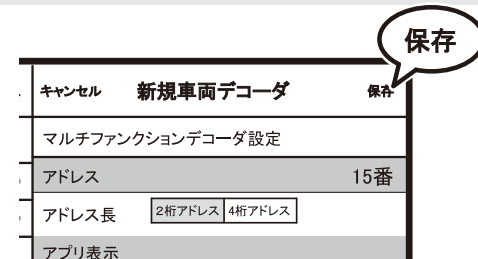
①F1(ファンクション 1) の“>”をタッチします。

②アイコン一覧から“ルームライト”をタッチし、左上の“<新規車両デコーダ>”をタッチし前画面に戻ります。



③F1 にルームライトが割り振られました。
(ロックを解除するとルームライトの機能は OFF になります)

④最後に右上の“保存”をタッチして車両の設定は完了です。尚、設定はいつでも変更可能です。



❗ 複数の車両を登録する時は、上記の作業を繰り返します。F2 以降は各デコーダの仕様を参照し設定してください。

❗ F0(ファンクション0)に関しては数多くのDCCデコーダでヘッドライトの制御に割り当てられています。

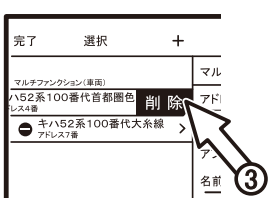
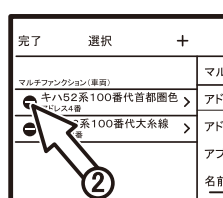
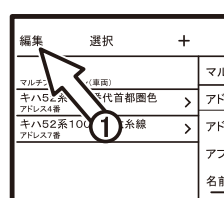
【ステップ 8】登録車両の削除

登録した車両を削除する場合は左上の“編集”をタッチし、削除することができます。

①編集をタッチします。

②削除したい車両の●マークをタッチすると...

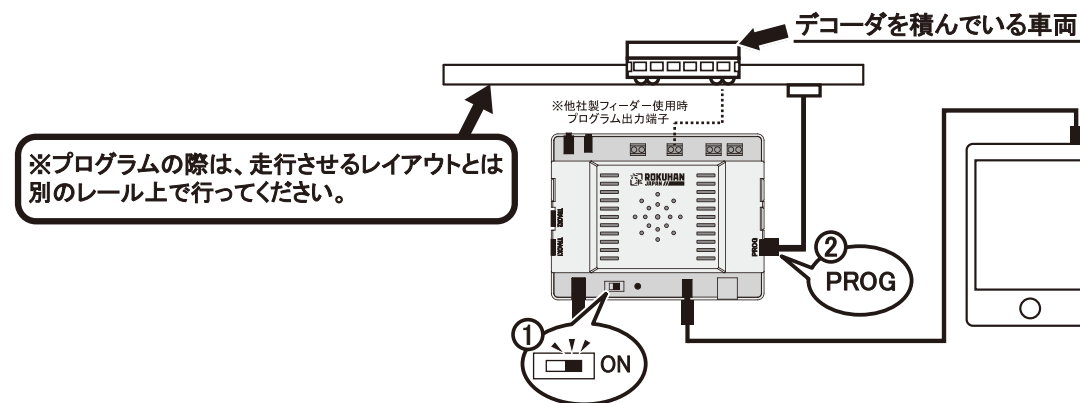
③削除アイコンが現れます。タッチすると削除できます。



現在設定中のアドレスを確認する“簡単チェック”機能の説明です。
(オーディオレシーバーでの無線式は対応出来ません。)

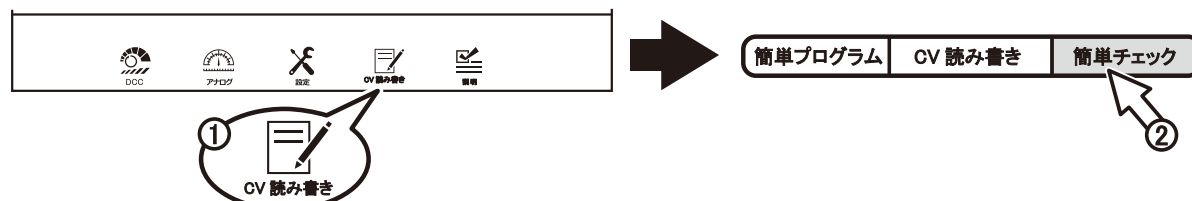
【ステップ1】DCC 車両簡単チェックのセットアップ

- ①読み込みをする車両をレールの上に置き、フィーダーを“プログラム端子”につなぎます。

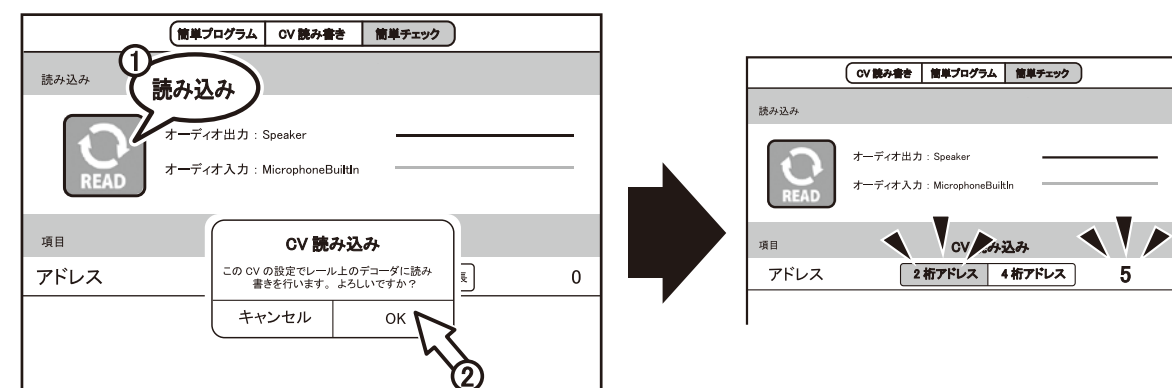


【ステップ2】DCC 車両のアドレスのチェック（簡単チェック）

- ①下部メニューアイコンの“CV 読み書き”をタッチし、プログラム画面の上部メニューの“簡単チェック”を選択します。



- ②簡単チェック画面が表示されます。ここで読み込みボタン (READ) を押すと、CV 読み込みウィンドウが表示されます。OK を押すと読み込みした車両のアドレスが表示されます。

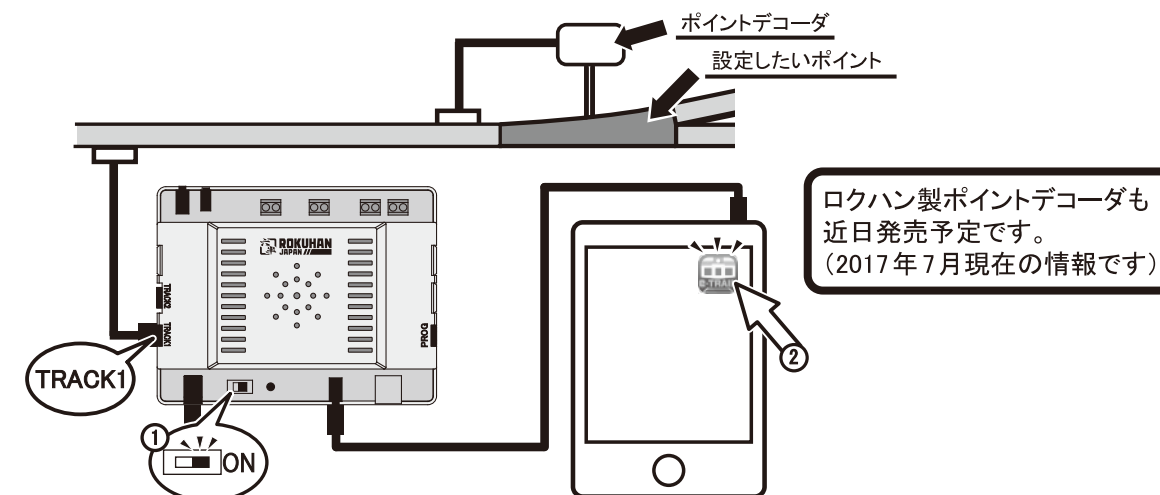


- ❗読み込み中、車両が動きますが、読み / 書きをしている際の動作です。故障ではございませんので、読み込み完了の表示まで車両に触れないでください。また、走行させる際は“プログラム出力端子”から“レール出力端子”へつなぎなおしてください。
※デジタルデコーダのメーカー、種類によって読み込みが出来ない場合があります。あらかじめご了承ください。

デジタルデコーダをセットしたポイントを簡単に手持ちのタブレット端末で制御が出来るようになります。
※DCC システムで操作するには、ポイント、アクセサリデコーダ等が必要です。

【ステップ1】DCC アクセサリ（ポイント）のセットアップ

- ①操作したいポイント、アクセサリデコーダを積んだアクセサリをセットします。
ロクハン製ポイントレール（別売り）をご使用の場合は裏面にポイントレール付属のネジを締め、“非選択式”の設定にしてください。（各ポイントレール取扱説明書参照）

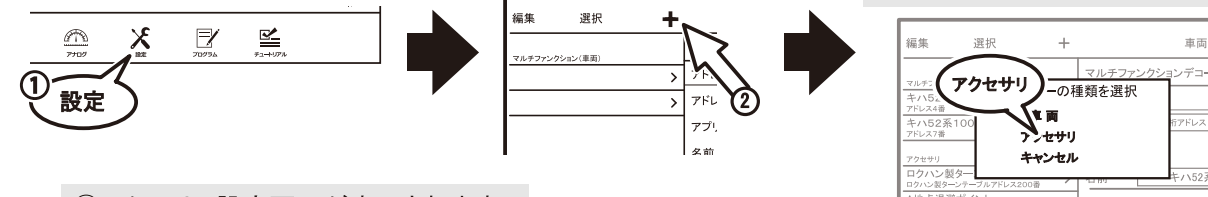


上図は一例となります。取付の詳細はご使用になるポイント、アクセサリデコーダの取扱説明書をご確認ください。

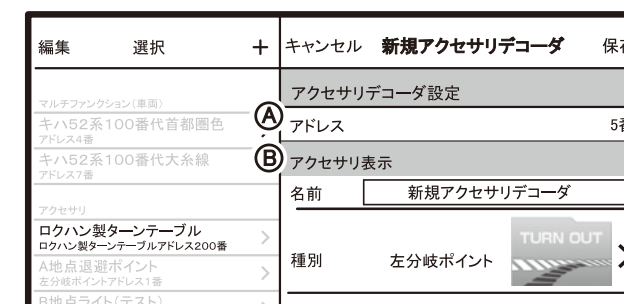
【ステップ2】アクセサリ設定画面の表示

デジタルデコーダ付きポイントを操作するためには車両と同様に、“アクセサリ設定”が必要です。

- ①“設定”をタッチします。 ②“+” マークをタッチします。 ③デコーダ選択画面が表示されます。アクセサリをタッチします。



- ④アクセサリ設定画面が表示されます。



① アドレス

② アクセサリ表示

- 名前：タッチして、登録するアクセサリの名前を変更できます。
- 種別：使用するアクセサリの種類を選択できます。

CV 読み書き用の CV 一覧表です。

各 CV 番号ごとに有効な CV 値が決まっていますので、一覧を参照ください。

CV番号	内容	CV値・有効な設定値
1	2 桁の基本アドレス	車両のアドレスの設定です。1 ～ 127 まで設定できます。
2	スタート電圧	車両の走り出し時の電圧設定です。 0 ～ 255 の間で設定します。【電圧 0% (0) ～電圧 100% (255)】
3	加速度	スピードコントロールバーを上げた時にすぐ加速するか、徐々に加速するかの設定です。 0 ～ 31 の間で設定します。【すぐ加速 (0) ～徐々に加速 (31)】
4	減速度	スピードコントロールバーを上げた時にすぐ加速するか、徐々に加速するかの設定です。 0 ～ 31 の間で設定します。【すぐ減速 (0) ～徐々に減速 (31)】
5	最高電圧	スピードコントロールバーが最大時の電圧設定です。 0 ～ 255 の間で設定します。【電圧 0% (0) ～電圧 100% (255)】
6	中間電圧	スピードコントロールバーが中間時の電圧設定です。 0 ～ 255 の間で設定します。【電圧 0% (0) ～電圧 100% (255)】
17,18	拡張アドレス(4 桁アドレス)	車両の4桁アドレスの設定です。128 ～ 9999 まで設定できます。
29	基本仕様設定	車両の基本設定です。

CV17,18 及び CV29 に関しての更に詳しい説明は、下記をご確認ください。

CV17,18 について

車両の 4 桁アドレスを“CV 読み書き”で設定する場合、CV17 と CV18 の設定が必要です。
その為の計算式は以下の通りです。(簡単プログラムの場合、この設定は必要ありません)

例：アドレスを 1000 に設定する場合の CV17、CV18 の値

$$\begin{array}{l} \text{設定したいアドレス} \quad 1000 \div \text{定数} \quad 256 = 3 \text{、余り } 232 \\ \downarrow \\ \text{定数} \quad 192 + 3 = 195 \quad \text{CV17} \quad \text{CV18} \end{array}$$

以上の計算から、
●CV17 の CV 値は 195
●CV18 の CV 値は 232
に設定することで、
アドレスを 1000 に設定することが
可能です。

CV29 について

CV29 は基本設定です。各項目の合計値＝CV 値となります。

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| ①+0/+1：順方向進行 / 逆方向進行 | ⑤+0/+16：スピードテーブル OFF / スピードテーブル ON |
| ②+0/+2：14 ステップ / 28, 128 ステップ | ⑥+0/+32：通常アドレス / 拡張アドレス |
| ③+0/+4：アナログ OFF / アナログ ON | ⑦+0/+128：マルチファンクション (車両) / アクセサリ |
| ④+0/+8：ステーションとデコーダの
一方向通信 / 双方向通信 | |

例

- ①+0/+1: 順方向進行 / 逆方向進行
②+0/+2 : 14 ステップ / 28, 128 ステップ

①を“逆方向進行”にしたい場合は“+1”なので1を、
②を“14 ステップ”にしたい場合は“+0”なので0を足します。
この流れを⑦まで行い、①～⑦の合計値が CV 値になります。

※メーカーによってデジタルデコーダの CV 番号、CV 値内容が異なる場合がございます。

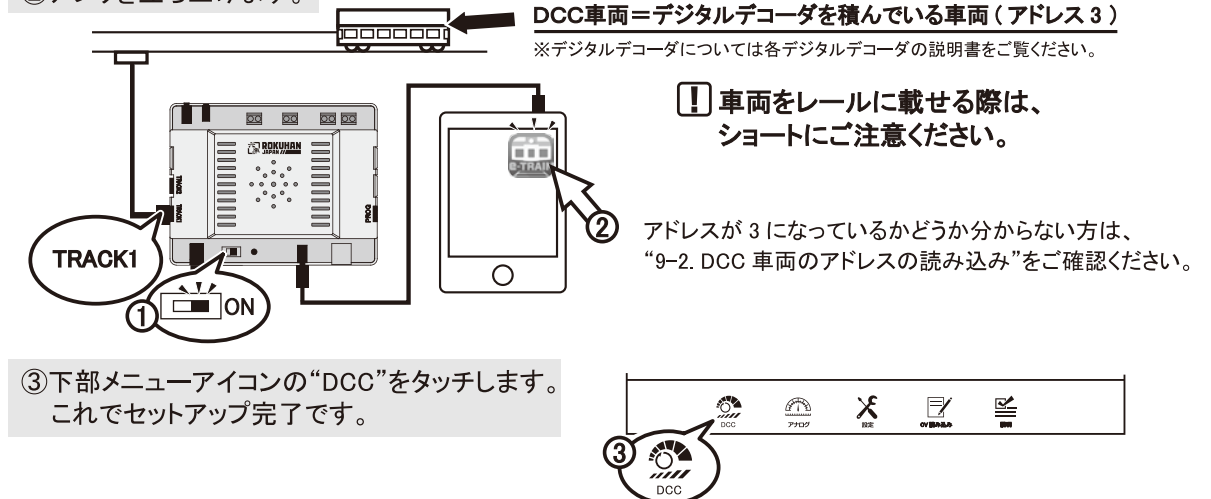
DCC 車両を簡単にお手持ちのタブレット端末で遊べるようになります！

車両用デジタルデコーダの初期設定は、基本的にアドレス“3”に設定されており、
e-トレインコントローラーもアドレス“3”で設定済みですので、難しい設定なしで遊べます。
※DCCシステムで走行させるには、デジタルデコーダを組み込んだ車両が必要です。

【ステップ 1】DCC 車両走行のセットアップ

①DCC車両を走行させるレールの上に置き、メインスイッチをオンにします。

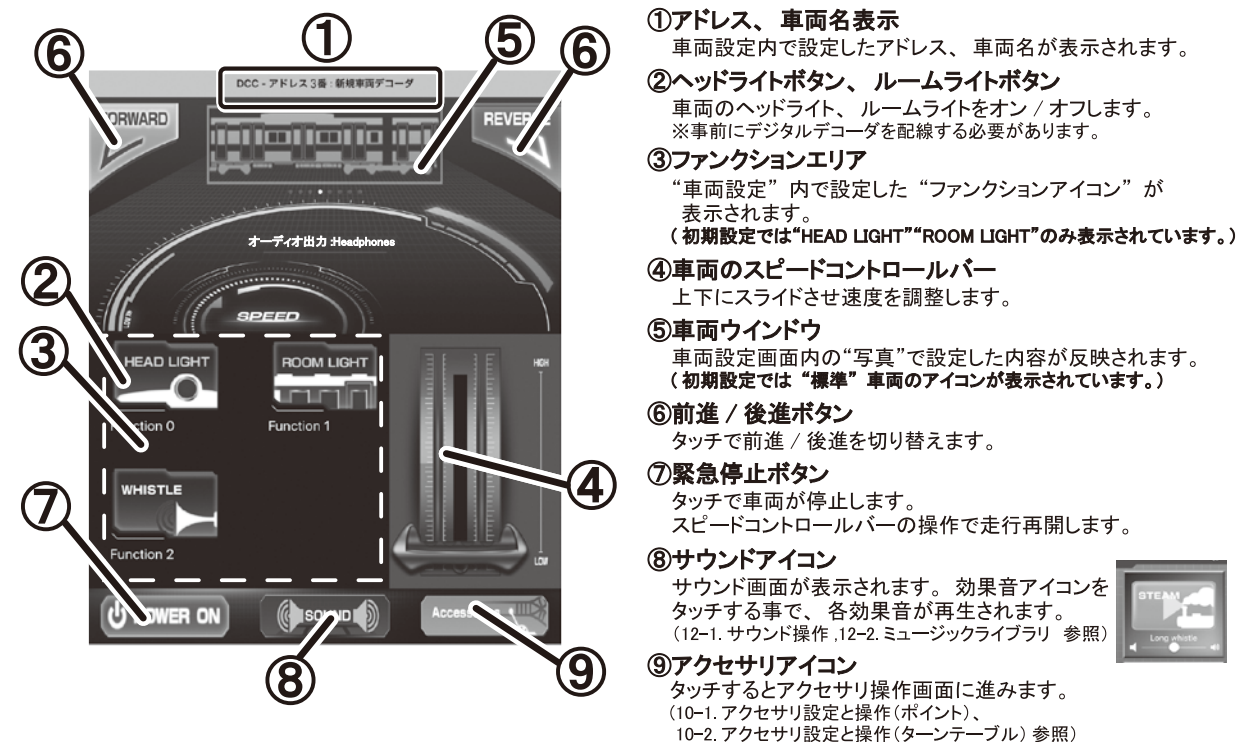
②アプリを立ち上げます。



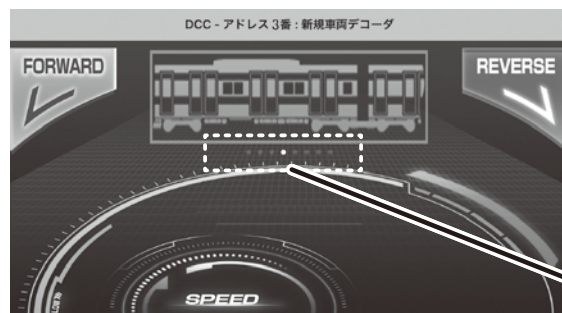
【ステップ 2】DCC 車両の走行

①DCC車両を操作します。

ここではデジタルデコーダとe-トレインコントローラーアプリの初期設定値であるアドレス3番の状態の説明いたします。オーディオ出力表示が青色の文字で“Headphones”になっている事を確認してください。



複数の車両を登録した時は、下記①～③の3種類の方法で別車両を呼び出すことができます。
また、タブレット端末を横にすると複数の車両を同時に一画面で操作できる横画面モードになります。



※タブレット端末の画面固定モード等を使用している場合、横画面モードには切り替わりません。

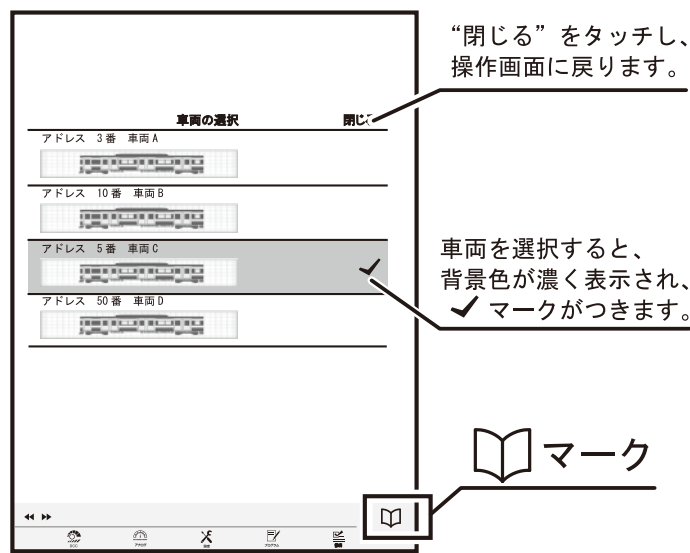
※複数の車両を登録すると、“●”が表示されます。
“●”の数が登録車両数、“○”（白丸）が現在操作している車両です。

【ステップ1】縦画面モードでの操作車両の切り替え方法(3種類)

①画面をスワイプして切り替える方法

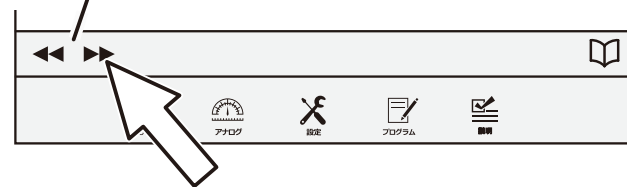


②マークで切り替える方法



③矢印マークをタッチして切り替える方法

画面左下の◀▶マークをタッチすると、“①スワイプでの切り替え”と同様に車両を切り替え可能です。

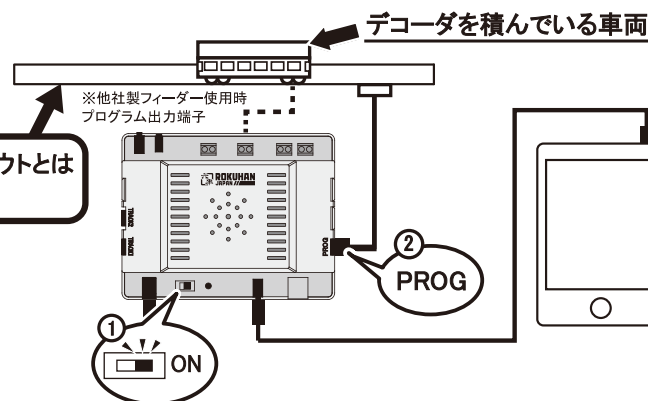


現在設定中の CV 値を確認する“読み込み”機能の説明です。
(オーディオレシーバーでの無線式では対応出来ません。)

【ステップ1】DCC 車両の CV 値読み込みのセットアップ

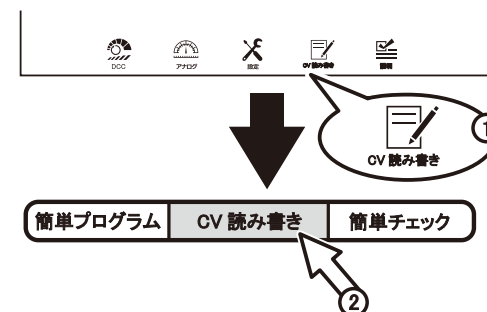
①読み込みをする車両をレールの上に置き、フィーダーを“プログラム端子”につなぎます。

※プログラムの際は、走行させるレイアウトとは別のレール上で行ってください。



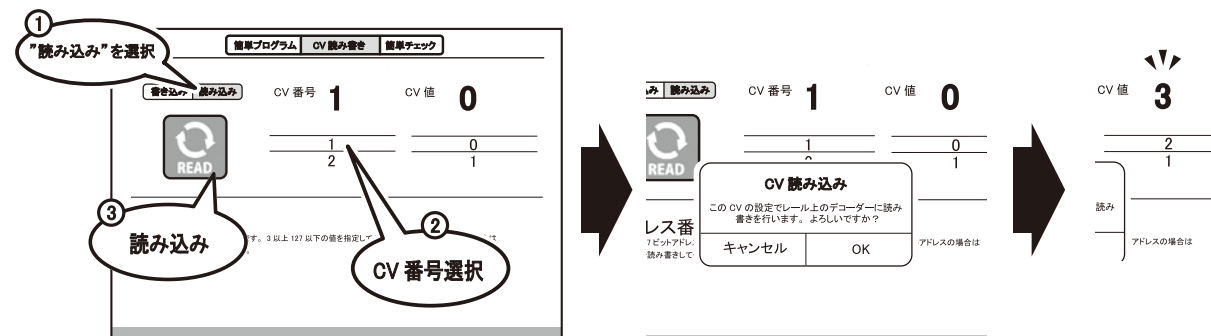
【ステップ2】DCC 車両の CV 値の読み込み

①下部メニューアイコンの“CV 読み書き”をタッチし、プログラム画面の上部メニュー“CV 読み書き”を選択します。



②CV 読み書き画面が表示されます。

読み込みたい CV 番号を選択して読み込みボタンの“READ”を押すと、読み込みウインドウが表示されます。OK を押すと読み込みした CV 値が表示されます。



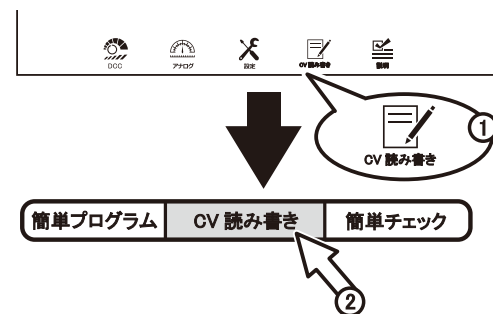
❗ 読み込み中、車両が動きますが、読み / 書きをしている際の動作です。故障ではございませんので、読み込み完了の表示まで車両に触れないでください。また、走行させる際は“プログラム出力端子”から“レール出力端子”へ、つなぎなおしてください。
※デジタルデコーダのメーカー、種類によって読み込みが出来ない場合があります。あらかじめご了承ください。

ここでは DCC 車両を個別にプログラムできる“CV 個別プログラム設定”の説明をします。
 簡単プログラムとの違いは、各項目ごとに細かく CV 値を設定できる点です。
 （オーディオレシーバーでの無線式では対応出来ません。）

CV とはデジタルデコーダ搭載の車両及びアクセサリの性能を変更する為の番号です。
 CV には“CV 番号”と“CV 値”の2種類があり、この値を設定することで、より実車に沿った遊びが可能となります。
 ●CV 番号とは・・・デジタルデコーダの基本的な動作を設定する項目番号です。
 ●CV 値とは・・・“動作”の各動作の内容を変化させる値です。
 ※“CV”についての詳細は 9-8.CV 番号、CV 値一覧表を参照ください。

【ステップ1】DCC 車両に書き込む為の準備

- ①下部メニューアイコンの“CV 読み書き”をタッチし、プログラム画面の上部メニュー“CV 読み書き”を選択します。



- ②CV 読み書き画面が表示されます。各項目ごとに CV 番号、CV 値を変更します。各 CV 番号の内容は“9-8. CV 番号、CV 値一覧表”を参照ください。

●書き込み/読み込み切り替えボタン
書き込みか読み込みの選択をします。

●書き込みボタン
CV 番号、CV 値を変更したら書き込みボタンを押して書き込みます。

●選択中の CV 番号の詳細

●オーディオ入出力表示
タブレット端末入力用ケーブルが正しく接続されると通常青色で表示されます。正しくつながっていない時は赤色になりますので接続を確認してください。

●現在選択中の CV 番号

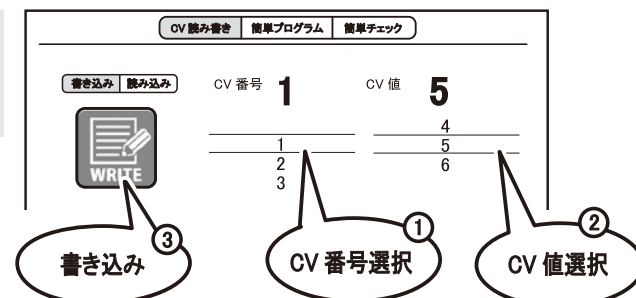
●現在選択中の CV 値

●CV 値
上下スワイプ操作で値を変更できます。

●CV 番号
上下スワイプ操作で値を変更できます。

【ステップ2】DCC 車両への書き込み

- ①書き込みの流れは、変更する CV 番号、CV 値を選択し、書き込みボタンを押して完了です。



- ❗ 走行させる際は“プログラム出力端子”から“レール用出力端子”へつなぎなおしてください。
 また、書き込み中、車両が動きますが読み / 書きをしている際の動作です。
 故障ではございませんので、書き込み完了の表示まで車両に触れないでください。

【ステップ2】横画面モードでの操作方法

登録済の複数の車両が表示され、同時に走行管理ができます。一度に4両表示可能で、4両以上登録している場合は画面を上下にスワイプさせ表示させます。
 横画面モードでは、車両の走行のみの管理が可能です。

●前進 / 後進ボタン

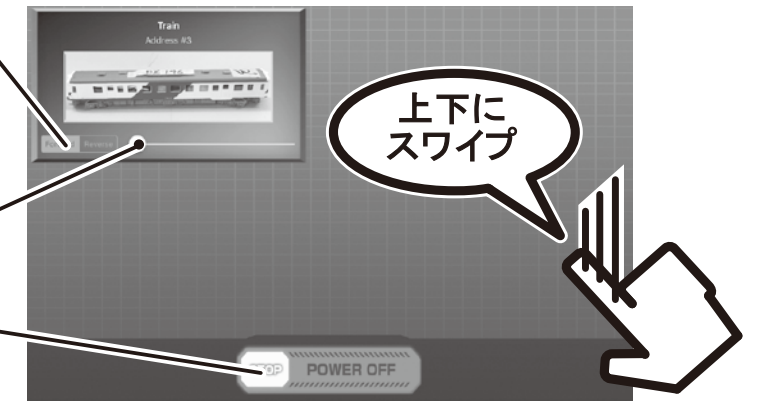
タッチで車両の前、後進を切り替えます。

●車両のスピードコントロールバー

左右にスライドさせ速度を調整します。

●緊急停止ボタン

タッチで全ての車両が停止します。



- ❗ 複数の車両を同時に操作する際、走行音を個別に設定している場合、e-トレイン本体スピーカーから複数の走行音出力されますので、走行音の音量を個別に調整してください。

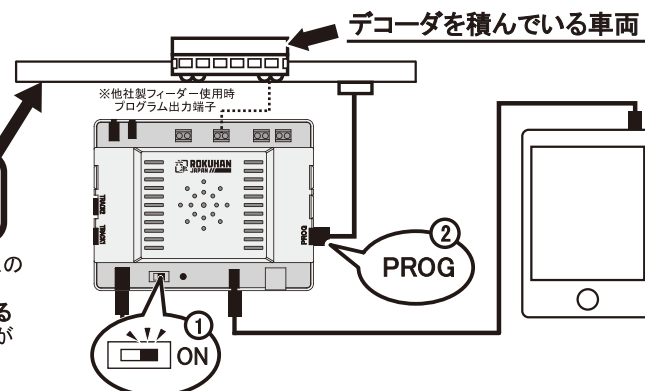
簡単プログラムでは、デジタルデコーダのアドレスの変更や加速度の変更ができます。
（オーディオレシーバーでの無線式は対応出来ません。）

【ステップ 1】DCC 車両プログラムのセットアップ

- ①プログラムをする車両をレールの上に置き、フィーダーケーブルを“プログラム出力端子”につなぎます。

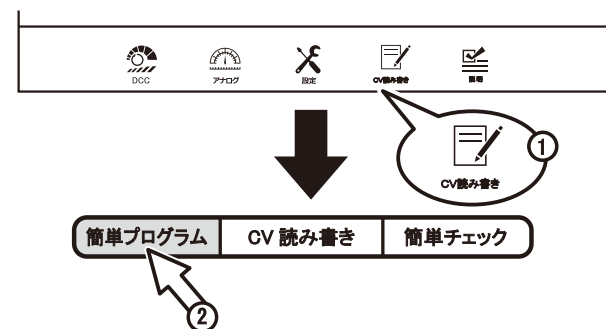
※プログラムの際は、走行させるレイアウトとは別のレール上で行ってください。

読み込み / 書き込みエラー防止の為、長さ 440mm 以上の直線レール上の中心部に配置してください。
この操作は以後、本書で「プログラムの際は、走行させるレイアウトとは別のレール上で行ってください。」の表記が出てきた場合に該当する操作になります。



【ステップ 2】簡単プログラム画面の表示

- ①下部メニューアイコンの“CV 読み書き”をタッチし、プログラム画面が表示されますので、画面上部メニューの“簡単プログラム”を選択します。



- ②簡単プログラム画面が表示されます。

●オーディオ入出力表示
タブレット端末入力用ケーブルが正しく接続されると青色で表示されます。正しくつながっていない時は赤色になりますので接続を確認してください。

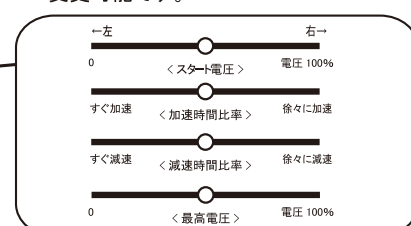
- 書き込みボタン
このボタンをタッチすると、設定したプログラムがデコーダに書き込まれます。



- 変更可能な走行に関する項目

- 説明アイコン
各項目の詳細な内容が確認できます。

- 走行に関する項目の設定値バー
このバーの操作で、車両の性能が変わります。このバーは“項目スイッチ”がオンの時のみ変更可能です。



- 項目スイッチ
オン（緑色）にすると項目が設定され、オフにすると解除されます。

【ステップ 3】アドレスの変更

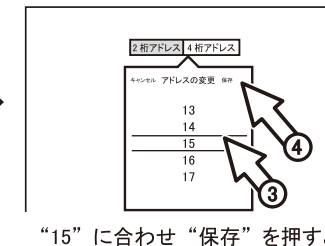
DCC で走行させる車両には、“アドレス”と呼ばれる個々の番号を車両に設定する必要があります。
動力車に限らずデジタルデコーダを積んでいる車両は全て必要となります。
アドレスを 0 ～ 127 番にしたい場合は“2 桁アドレス”、128 ～ 9999 番は“4 桁アドレス”をタッチしてください。

例:アドレスを 15 番に設定する時

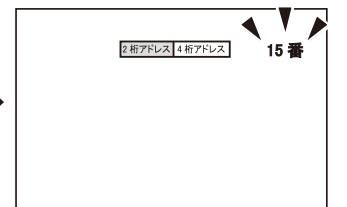
- ①15 番なので“2 桁アドレス”をタッチします。



- ②アドレス変更ウインドウが表示されます。

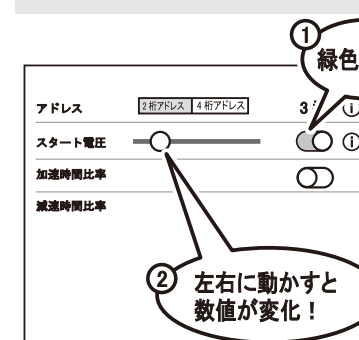


- ③アドレスが 15 番にセットされました。

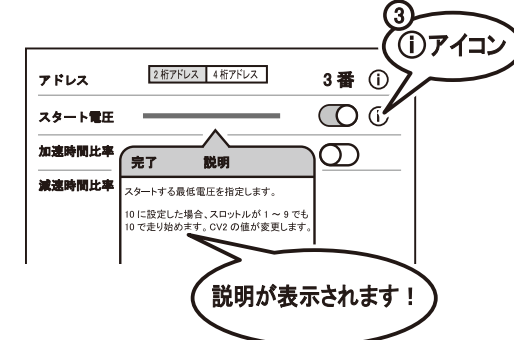


例：他の項目を変更する時

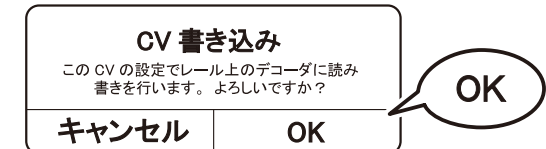
- ①項目スイッチを“ON”(緑色)にして、スライダーを左右に動かし、各項目の設定を調整します。



- ②右側“①”アイコンをタッチすると、各項目の説明が表示されます。



各項目の設定が完了したら、“書き込み”ボタンを押して車両に書き込み完了です。



他の項目を変更した場合も、最後に“書き込み”ボタンを押し、OK を押せば車両に書き込み完了です。

- ❗ 走行させる際は“プログラム端子”から出力端子につなぎなおしてください。

※CVに関しては“9-6. DCC 車両への書き込み”を参照ください。

- ❗ 書き込み中、車両が動きますが読み/書きをしている際の動作です。故障ではございませんので、書き込み完了の表示が出るまで車両に触れないでください。

